

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.103

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-8543

北海道札幌市中央区南1条西16丁目

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院 臨床工学部

TEL 011-611-2111

年頭所感2012

公益社団法人
北海道臨床工学技士会
会長 室橋 高男

新年明けましておめでとうございます。2012年の新春を迎え、本年が会員皆様にとっても、当会にとっても良い年になることをお祈り申し上げます。また、日頃より当会の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜っております関係各位の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、現在の医療には医療機器の存在が不可欠となっており、それら医療機器の安全管理が強く求められております。加えて「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」を遵守する中で、多くの臨床工学技士が対応し、それに伴って我々臨床工学技士の責任が益々重みを増してきております。

昨年は、学術委員会、安全委員会、教育委員会の企画により各種セミナーと学術大会を開催し盛況に終えることができました。また、財務委員会、事務局においては各種の受付、事務作業など多方面に関わり各事業を成功に導いてくれました。そして、公益事業推進委員会では、委員会メンバーが在籍する地区の札幌、函館、旭川では活発な活動をしております。

この場を借りまして当会活動へご尽力いただいている皆様には、心より感謝を申し上げます。

今現在でも公益社団法人として恥ずかしくない事業を展開しておりますが、今年は全道展開を目指し公益事業を展開する中で、臨床工学技士の認知度を高めつつ、「個々のスキルアップと技術の研鑽」を重点に、教育システムの構築を充実していきたいと思っております。また、道内に点在する臨床工学技士地方会との結束力を高めるために、継続して各地方会行事へ参加し、交流を深め、北海道の臨床工学技士が一枚岩となり、国や自治体へアピールできるよう組織力を高めるべく努力していく所存であります。

臨床工学技士が抱える様々な問題を克服するためには、当会への入会率を向上させ、組織を拡大することが重要であり、未入会の方々へ入会のはたらき掛けを行うと共に魅力ある組織になるよう、当会の研修会・セミナー等をさらに充実させていきたいと思っております。

会長職2期目、公益社団法人1期目を預かる身として、会員の皆様のご協力を得ながら、自分たちがその第一歩を踏み出すという確固とした信念を持ち、自分の職業に希望と誇りが持てるよう邁進する所存でございます。

今後、臨床工学技士の職能団体として公に訴えていかなければならない課題が山積みではありますが、今後も皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、本年が会員皆様にとりまして益々のご健勝の年でありますことをお祈り申し上げます。

AED 日常点検講習実施報告

我々公益社団法人北海道臨床工学技士会では、公益事業の一環として施設担当者様へ自動体外式除細動器（以下AED）に対する日常点検啓発活動を推進しております。

実際の活動状況の一例ではありますが、2011年12月26日にホテルノースシティーで行われた講習の実施報告書の本文（一部改変）を掲載いたします。

公益事業推進委員会
委員長 齊藤 高志

AEDはフロント右隣にて専用キャビネット内に設置されておりました。時間より早くロビーに到着したため、事前にキャビネット保管状況の確認を行ったところ、ラベルは下がっていたものの本体の影に隠れておりました。このキャビネットには消音手段がなく、取り出しの際には素早く出し入れする必要があります。

講習自体は別室に移動して行いました。先方の参加者がこちらの予想よりもはるかに多く、従前の「Kファイル（註1）」を提示しながらの説明では見づらいことが懸念され、トレーナーについても離れた席の参加者には見づらい事が予想されたので、声をかけトレーナーの近くでこちらの手順どおりに行ってもらいました。

AEDの管理状況についてはメーカーから提供のあった月次点検表を用いておりましたが、担当者の異動をきっかけに2010年8月以降点検をしなくなっていました。消耗品に関しては、バッテリーは購入当時（2009）のままとなっており、期限まで3年残しておりましたが、パッドに関しては今年1月で期限を迎えておりました。消耗品交換の必要性については、こちらからの説明に加え、実機のバッテリーインジケータ表示が“購入後一度も使われていないのに”50%まで消費していた事、当方が用意した期限切れパッドの変色を見てそれぞれ納得していただけた様でした。消耗品の予備について伺ったところ、在庫を用意しておらず、その必要性を説明すると共に、何個予備を置くかは先方の裁量の範囲になりますが、消耗品購入先がどれくらいの納期で収めてくれるのかを確認し決定する方法もあるとアドバイスしました。



講習の様子



トレーナーを用いた説明の様子

講習を受けて、メーカーが推奨する毎日のインジケータ確認及び毎月本体の蓋を開けインジケータの確認を実施していくと支配人からお話がありました。ホテル内の人事異動等で関連書類がファイルごと埋没してしまう事が懸念されたので、こちらから「職員が誰でも点検状態を確認できるように本体近くに点検表を設置したらどうか」、「AEDを使用したことは確実に申し送られる事が必要」との提案を行い、これも受け入れられました。先方から、ラベルをキャビネット側に貼り付ける事の可否を質問されましたが、消耗品の実際の記載と一致しなくなる懸念からラベルは本体と一緒にあるほうが管理しやすいのではないかと提案しました。受講を終え、先方からは「日常点検の必要性を認識できた。この講習内容を生かし、今後現場へ日常点検を徹底する」との感想を頂きました。

全体的な反省としては、今回の様に会場が広く、参加人数が多くなった場合、A4ファイルを提示しながらの講習形態には無理があるため、前回の委員会でも話があった、小型プロジェクタが必要と思われました。また、AEDの説明において、設置者が陥りやすい誤解（AEDは除細動が必要か否かを内部で解析するので無事な患者へは絶対放電しない・たとえレンタルであっても設置者の日常点検義務は免れない）について講習会で共通的に話し、Kファイルの抜粋と共にAEDの基本的な知識が先方の手元に残る様な資料作りの必要があると思われました。

（註1）Kファイル：当委員会ですとまとめたAED日常点検啓発用資料で、講習はこれに沿って行われます。

北海道新聞に掲載されました

AEDの点検講習に取り組む

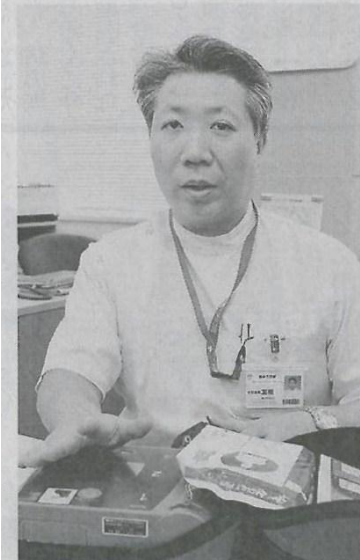
ひと2011

むろはし たかお
室橋 高男さん

病院で医療機器の操作、

点検を行う臨床工学技士ら
でつくる北海道臨床工学技
士会の会長。同会は駅や公
共施設などに設置された自
動体外式除細動器(AED)
が緊急時に使用できない事
態を防ぐため、来年から学
校や企業を対象にした無料
の日常点検講習を本格化さ
せる。各地に講師を派遣予
定で「救える命を確実に救
うための環境づくりをした
い」と意気込む。

AEDは、心臓に電気シ
ョックを与え、拍動を正常
に戻す医療機器。2004
年7月から一般市民でも操
作できるように、急速
に普及した。道内では一方
台以上設置されているが、
点検の仕方が分からずに放
置されるケースも目立ち、
「緊急時に作動しない危険
もある」という。



今年、札幌や旭川など4
カ所で試験的に実施した点
検講習では、保管状況の確
認、胸にはり付ける電極パ
ッドなど消耗品の交換時期
を指導した。参加した施設
の中には、使用期限の切れ
た古い電極パッドをそのま
ま付けていたところもあ
り、「点検が必要なこと自
体知らなかった」などの声
も多かったという。

来年からは現在10人の講
師を増員し、小中学校や商
業施設などに講師を派遣す
る計画で「日常点検の重要
性を訴えたい」。札幌市出
身。札幌医大付属病院の主
任技師で、同市南区で妻と
長女と3人で暮らす。休日
に家族で公園に出かけるの
が「一番の息抜き」。43歳。
(久保田昌子)

2011年12月25日 北海道新聞掲載

第一回北海道呼吸ケアセミナー終了

去る1月14日(土)、札幌コンベンションセンターにおきまして「第一回北海道呼吸ケアセミナー」が開催されました。

本セミナーは当会と小林メディカル株式会社の共催で企画されました。

講演は「RSTの立ち上げと活動維持」と題して旭川赤十字病院 臨床工学技士 陶山真一先生、「呼吸ケアの実情」と題して札幌医科大学付属病院 集中治療室 集中ケア認定看護師 和泉美保先生にそれぞれわかりやすく講演して頂き、「医療ガスの正しい使い方」、「酸素療法器具の接続実習」について、北海道エアウォーター株式会社、小林メディカル株式会社のご協力で実施され、有意義な学習の場を頂きました。

何かとご多忙のなか、ご講演いただいた諸先生方、共催、協賛の各企業の皆様、セミナーの参加者の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



「酸素療法器具の接続実習」の様子

医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.61 2011年12月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

No.61 2011年12月

併用禁忌の薬剤の投与

医療用医薬品の添付文書上、併用禁忌(併用しないこと)として記載のある薬剤を併用した事例が2件報告されています(集計期間:2007年1月1日~2011年10月31日、第16回報告書「共有すべき医療事故情報」(P133)の一部を掲載)。

医療用医薬品の添付文書上、併用禁忌(併用しないこと)として記載のある薬剤を併用した事例が報告されています。

投与していた薬剤	併用した薬剤
薬剤名不明 (バルプロ酸ナトリウム)	メロペン点滴用バイアル (メロペナム水和物)
ハルシオン錠 (トリアゾラム) ロナセン錠 (プロナセン)	イトリゾールカプセル (イトラコナゾール)

医療安全情報

医療事故情報収集等事業

No.61 2011年12月

併用禁忌の薬剤の投与

事例 1

抗てんかん薬(バルプロ酸ナトリウム)を服用中の患児に肺炎治療の目的で、メロペンを4日間点滴治療した。病状が軽快し退院したが、翌日強い不穏症状が現れ他院で診察を受けた。

◆メロペン(カルバマゼパム系抗生物質製剤)の添付文書の「相互作用」に併用禁忌として、バルプロ酸ナトリウム(デパケン、バルプロアセチル等)との併用の併用禁忌があり、バルプロ酸の血中濃度が低下しててんかんの発作が再発することが記載されています。

事例 2

手爪白癬に対して、イトリゾールカプセルを処方する際、近医から処方されている患者の内服薬を確認した。患者の内服薬の中から併用注意の薬剤については併用しないように伝えられたが、併用禁忌の薬剤であるハルシオン、ロナセンには気付かなかった。1週間後、患者はふらつきや眩暈が起こり、足がもつれて転倒した。

◆イトリゾール(口頭抗真菌剤)の添付文書の「相互作用」に併用禁忌として、「トリアゾラム(ハルシオン)」や「プロナセン(ロナセン)」とイトリゾールの併用により、CYP2A4に対する阻害作用によって「プロナセン」や「プロナセン」などの代謝を阻害し、これらの薬剤の血中濃度上昇や作用増強のおそれがあることが記載されています。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・併用禁忌の薬剤について院内で注意喚起を行う。
- ・新しく処方された薬剤を投与する際、すでに投与している薬剤との併用について確認する。
- ・併用禁忌の薬剤について、薬剤師がチェックできる体制にする。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたって保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.iqhc.or.jp/>

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.62 2012年1月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

No.62 2012年1月

患者の体内に植込まれた医療機器の不十分な確認

患者の体内に植込まれた医療機器の確認が不十分なまま、MRI検査を実施した事例が7件報告されています(集計期間:2008年1月1日~2011年11月30日、第9回報告書「共有すべき医療事故情報」の一部を掲載)。

患者の体内に植込まれた医療機器の確認が不十分なまま、MRI検査を実施した事例が報告されています。

患者の体内に植込まれていた医療機器	件数
ペースメーカー	4
植込み型除細動器	1
人工内耳	1
圧可変式の脳室シャントバルブ	1

◆患者の体内に植込まれた医療機器には、脳動脈瘤手術用クリップや体内固定用プレートなども含まれます。

医療安全情報

医療事故情報収集等事業

No.62 2012年1月

患者の体内に植込まれた医療機器の不十分な確認

事例 1

ペースメーカー挿入後の患者が、下肢筋力低下のため、整形外科を受診した。医師は、腰部MRIをオーダーした際、ペースメーカーの有無の確認を怠った。放射線技師は、検査前に家族の立会いのもと胸部などの金属類の持参はないか確認し、検査を開始した。検査中、家族より「患者はペースメーカー植込み術をしている」と言われ、直ちに検査を中止した。

事例 2

聴力障害のある患者にMRI検査を行う際、MRIオーダー上は金属の項目が「なし」になっていたが、病棟看護士からMRI室担当看護士に「補聴器を使用」との申し送りがあった。その後、右目の補聴器をはずして入室し、ガントリーの中に入ったところ、患者より「頭が痛い。人工内耳が…」と訴えがあったため、直ちにMRI検査を中止した。確認すると、患者は左耳に人工内耳の植込みをしていたが、検査を依頼した外科医師には伝わっていなかった。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・MRI検査前のチェックリストに、患者の体内に植込まれた医療機器に関する項目を追加する。
- ・患者の体内に植込まれた医療機器の情報収集をする際、必ず患者または家族から問診を行う。
- ・患者の体内に植込まれた医療機器の情報は、植込み術を実施した診療科の主治医がカルテに記載するなど、各科で情報を共有できるようにする。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたって保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.iqhc.or.jp/>

◆RM ニュース◆

2月からの予定表

<脳死肝移植後の透析でミス、患者死亡>

京都の病院は 14 日、脳死肝移植を受けた 50 歳代男性が手術後の人工透析治療の際、病院側のミスによって死亡したと発表した。原因は使用する器具の取り違いだという。

男性は C 型肝炎による肝硬変に加え、腎不全を併発。今月の 4 日に脳死判定された別の男性から肝臓を提供され、5 日に移植手術を受けた。術後の経過は順調で、11 日に集中治療室から一般病棟へ移り、人工透析の治療を受けていた。

透析治療は、血液中の老廃物を濾過するフィルターを定期的に交換し、24 時間連続で行っていた。ミスが起きたのは 12 日午後 7 時 30 分頃の交換作業。当直の医師が看護師に新しいフィルターに換えるよう依頼したが、看護師は老廃物濾過用ではなく、誤って血液から血漿を分離するフィルターを用意。医師も間違いに気付かず、別の医師と透析装置に取り付けたという。

この 2 種類のフィルターは、ともに病棟の看護師詰所の棚に保管。血漿分離に使うのは長さ 29cm、直径 42mm でパイプの両端が青く塗られているが、老廃物濾過用は長さ 22cm、直径 35mm の透明で、区別できるようになっていた。

(2011 年 11 月 15 日 掲載:読売新聞)

<専門技師、必ず立ち会い>

京都の病院は、人工透析治療で看護師や医師が器具を取り違えたミスで患者が死亡した 11 月の事故を受け、医療器具の交換作業に臨床工学技士が必ず立ち会う体制を今春から整える事を決めた。

不慣れた医師が機器の交換を行ったことが問題で、医療機器の扱いに精通した臨床工学技士が立ち会っていれば防げた可能性があるかと判断した。機器に精通していない医師だけで、器具を取り扱う環境が常態化していたため、今後は体制を整備し、再発防止に努めたいとしている。

(2012 年 1 月 7 日 掲載:読売新聞)

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2012 年 2 月 18 日 (土) ~2 月 19 日 (日)

「第3回 卒後教育セミナー ペースメーカーセミナー
ペースメーカー教育セミナー」

会場 ムトウ本社会議室 (6F)
札幌市北区北11条西4丁目
<http://hcea.umin.ac.jp/>

2012 年 3 月 11 日 (日)

「公益事業推進委員会主催
市民公開講座のご案内」

会場 札幌市生涯学習センターちえりあ
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

2012 年 5 月 12 日 (土) ~5 月 13 日 (日)

「第 22 回 日本臨床工学会」

会場 富山国際会議場ほか
富山市大手町1番2号
<http://www.jacet22.jp/>

2012 年 5 月 20 日 (日)

「第 81 回 北海道透析療法学会」

会場 旭川市 大雪クリスタルホール
旭川市神楽 3 条 7 丁目
<http://www.dotoseki.net/>

2012 年 6 月 7 日 (木) ~6 月 9 日 (土)

「第 87 回 日本医療機器学会大会」

会場 札幌コンベンションセンター
札幌市白石区東札幌6条1丁目
<http://www.jsmi.gr.jp/>

2012 年 6 月 22 日(金)~6 月 24(日)

「第 57 回 (社)日本透析医学会学術集会」

会場 京王プラザホテル札幌
ほか 4 会場
<http://www2.convention.co.jp/57jsdt/>

公益事業推進委員会からのお知らせ

公益事業推進委員会主催の 市民公開講座のご案内

【日時】

3月11日(日)14:00~15:00

【場所】

札幌市生涯学習センターちえりあ
〒063-0051
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
Tel.011-671-2200

【講演内容】

「血圧の管理とその重要性」
講師:札幌医科大学医学部第2内科
橋本暁佳先生
「血圧計の正しい使用方法」
講師:(株)テルモ

血圧管理に関心のある方は、同僚の方やお知り合いの方をお誘いあわせの上ご参加のほど宜しくお願いします。

理事会からのお知らせ

平成23年度12月~平成24年1月までの理事会において以下の報告・協議がされました。

- 公益社団法人 北海道臨床工学技士会における賠償責任保険制度の構築について
- 第23回北海道人工呼吸セミナーについて
1月21日(土)~1月22日(日)
- 第3回卒後教育セミナー ペースメーカー教育セミナーについて
2月18日(土)~19日(日)
- リーフレット・パンフレットの更新について
- 社団法人 日本臨床工学技士会第2期代議員選出選挙について
全国区代議員
大澤 貞利、真下 泰 (アイウエオ順)
の2名を当会推薦とする
地方区代議員
加藤 伸彦、室橋 高男、脇田 邦彦
(アイウエオ順)の3名を当会推薦とする

第2期理事選挙候補者公示

平成24年1月17日

第2期役員選挙公示

公益社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出規定に従い、下記の通り立候補者を公示致します。

今回は、理事定員8名の選出において、同数の立候補者となっていることから、公益社団法人北海道臨床工学技士会役員選出規定第5章第17条により無投票で当選となります。異議の申し立ては、公益社団法人北海道臨床工学技士会役員選出規定第7章第21条の通り、公示後14日以内となっております。

選挙管理委員長 阿部 渉



	氏名	所属
理事 (8名)	脇田 邦彦	旭川赤十字病院 医療技術部 臨床工学課
	室橋 高男	札幌医科大学附属病院 臨床工学部
	加藤 伸彦	北海道大学病院 ME機器管理センター
	寺島 斉	北海道社会保険病院 ME部
	柴田 晴昭	萬田記念病院 診療部
	佐藤 利勝	医療法人ピエタ会 石狩病院 診療技術部兼透析室
	大宮 裕樹	KKR札幌医療センター 診療技術部 臨床工学科
	石川 幸広	仁友会 北彩都病院 診療技術部 臨床工学科

(受付順)



公益社団法人 北海道臨床工学技士会

Hokkaido Public Interest Incorporated Association for Clinical Engineering Technologists

公益社団法人 北海道臨床工学技士会 入会手順は...

1. 北海道臨床工学技士会の申し込み用紙に必要事項を記入後、事務局宛に郵送します。
(申込用紙は技士会 HP からダウンロード出来ます。)
2. 年会費振込み時、備考欄に「新入会」と記入し 5,000 円を下記へ入金します。
3. 事務局にて申込用紙と入金を確認され次第、北海道臨床工学技士会へ入会扱いとなります。
4. その後、会員宛に事務局より「入会手続き完了通知」が郵送されます。

人と医療のあいだに...

医療従事者の方々と患者様の間で、「患者様第一主義」を
実践することが、私たちJMSの使命です。



<http://www.jms.cc>

株式会社 ジェイ・エム・エス

広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル

人工腎臓用透析用剤

Ca⁺⁺ 2.75 HCO₃⁻ 27.5 C₆H₁₂O₆ 125

キングダリー®透析剤

4D・4E・AF4P号 新発売

透析治療に新たな選択肢を。



扶桑薬品工業(株)

Ca⁺⁺ 2.75 mEq/L HCO₃⁻ 27.5 mEq/L C₆H₁₂O₆ 125 mg/dl

KAWASUMI

生体腎の機能を求め、真の代替になり得る人工腎臓(ダイアライザ)へ

RENAK PS

特長

- 血液と透析液の流動性を向上させたモジュール形状
- アルブミンの漏出を抑えたシャープな分画
- 水と熱しか使わないピュアな高圧蒸気滅菌を採用
- 1.0㎡から2.3㎡まで幅広いラインナップ



販売名: カワスミ ダイアライザー
医療機器承認番号: 22200BZX00781000

製造販売業者 **川澄化学工業株式会社** 〒108-6109 東京都港区港南2丁目15番2号 品川インターシティB棟 TEL.03-5769-2604 URL:<http://www.kawasumi.jp> 管理No.201106-04-00

YAMATO 7.5Fr.

YAMATO 7.5Fr.は、大動脈内バルーンカテーテルセットLinear 7.5Fr.の愛称です。

日本人の胸部下行大動脈長に合わせた
日本人のためのIABカテーテル

販売名: 大動脈内バルーンカテーテルセットLinear 7.5Fr. 販売名: 大動脈内バルーンポンプ CS100
医療機器承認番号: 21700BZY00613000 医療機器承認番号: 21600BZY00318000

製造販売元 **MAQUET マッケ・ジャパン株式会社**

〒146-0002 東京都品川区東品川12-2-4 スフィアタワー天王2033室
連絡先: カードイオパキキュラー事業部 TEL:03-5463-8316 FAX:03-5463-6856

—Belong to each other—

販売元 **USCI USCIジャパン株式会社**

本社 物流センター 札幌営業所 仙台営業所
Tel.(03)3578-7780 (代)
Tel.(03)3799-2993 (代)
Tel.(011)750-5700 (代)
Tel.(022)792-2061 (代)

東京営業所 金沢営業所 名古屋営業所 大阪営業所
Tel.(03)3578-7782 (代)
Tel.(076)224-6811 (代)
Tel.(062)696-0100 (代)
Tel.(06)6946-8050 (代)

MAQUET
GETINGE GROUP

大動脈内バルーンポンプ

CS300™


Smaller meets Faster

よりスピーディーに...
緊急を要する患者と医療従事者のために...



**日本語ソフトとの連携で
簡単・効率的にテストを行えるME機器チェッカ**

輸液ポンプチェッカ、除細動器チェッカ、パルスオキシメータチェッカ、SpO₂センサステタ、ECGシミュレータ、ペイシエントシミュレータ、非観血式血圧計チェッカ、電気安全アナライザ



簡単オートテスト レポート自動作成


データ管理もできる!

機器台帳 購入台帳
試用台帳 配置表
貸出・返却

さらに
機器管理システムが連動!

管理レポート
定期保守 点検保守
部品管理 ICタグ連動

院内ME機器・医療備品を台帳・カルテ管理するME機器総合情報管理システムとの連携により、保守・点検時に測定した各種データやレポートを自動的に電子データにて管理することが可能です。



Something to Life **METS** 株式会社 メッツ
〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7
E-mail: sales@mets-tokyo.jp TEL: (03)3888-8445

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

経口そう痒症改善剤 劇薬、処方せん医薬品^注 薬価基準収載

レミッチ[®] カプセル2.5μg

REMITCH[®] 一般名：ナルフラフィン塩酸塩

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること
本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 販売元 (資料請求先) 提携
'TORAY' 東レ株式会社 鳥居薬品株式会社 日本たばこ産業株式会社
東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号 東京都中央区日本橋本町3-4-1 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号
<http://www.remitch.jp>

2010年6月作成

医療と福祉の融合を目指す
アクティブグループ

AG
URL <http://www.aotg.co.jp>

**専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して
医療現場をフルサポート致します。**

医療機器・医療材料の総合商社
株式会社アクティブメディカル
東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル
支店: 横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路

持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、
処方せん医薬品: 注意-医師等の処方せんにより使用すること

ネスプ[®] 注射液 プラシリンジ

10・15・20・30・40 μg/1mL 60・120 μg/0.6mL 180 μg/0.9mL

製造販売元 [資料請求先]
協和発酵キリン株式会社
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185
www.kksmile.com

薬価基準収載 一般名: ダルベポエチン アルファ (遺伝子組換え)

本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌」を含む「使用上の注意」等については最新の添付文書をご参照ください。



2011年3月作成
®登録商標

>> 旭中空糸型ダイアライザー

APS-EA

APS-A Series

「優れた生体適合性」と「高い溶質除去性能」で、患者さまの様々なニーズに応えられる透析治療を実現します。



旭中空糸型ダイアライザー APS-EA
承認番号 222008ZX0067000

旭化成クラレメディカル株式会社
<http://www.asahikasei-kuraray-medical.co.jp>

>> 血球細胞除去用浄化器

CellSORBA® E

潰瘍性大腸炎治療の
スタンダードへ

一取用
EX



小児・低体重者用
E

血球細胞除去用浄化器 セルソルバE
承認番号 213008ZZ00440000

THE SERVO BRAND

サーボベンチレータは、信頼のある性能と使いやすさを備えたベンチレーションシステムです。病院内の多種多様な条件に合わせて使用することができます。

MAQUET



本社 / 〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2-2-1 TEL (011) 721-3251 (代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日 (祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
●医療機器専門メーカー **フクダ電子北海道販売株式会社**

●旭川営業所 〒078-8345 北海道旭川市東光5条3-1-1 ☎(0166)32-6970代
●釧路営業所 〒085-0058 北海道釧路市愛国東2-11-16 ☎(0154)39-1088代

●函館営業所 〒040-0012 北海道函館市時任町20-15 ☎(0138)55-6097代



新生児・小児・成人用人工呼吸器
サーボベンチレータ

Servo*i*

医療機器承認番号:
21200BZY00120000

止血弁付安全留置針

ハッピーキャス V

- 世界初の新機能「止血弁」
- 針刺し防止機構



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201 <http://www.medikit.co.jp/>
製造販売元: 東郷メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000 <http://www.togomedikit.co.jp/>

NIPRO

マキシフラックス*

MFx-eco タイプ

血液透析器 血液管理医療機器
医療機器承認番号: 22200BZX00931000 **BPA FREE**



- 透水性能に優れるポリエーテルスルホン中空糸膜素材に採用。
- 性能の異なる MFx-eco・MFx-S eco の 2 種類をラインアップ。
- 最大 2.5ml までの各 4 種類の薬液。
- ポリプロピレン製のケースを採用し環境ホルモン BPA を排除。
※BPAはビスフェノールAの総称です。

maxiflux®

NIPRO 製造販売 ニプロ株式会社
大宮市北区本庄西3丁目9番3号



準備から返血までの操作をひとつの流れとして
安全性の向上と作業性の最適化を実現しました

MODEL **DCG-03**
多用透析用監視装置

Hybrid D-FAS

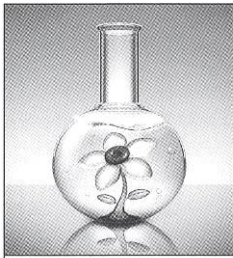
Dialysis - Full Assist System

※任意仕様 Brand new



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL: 03-3443-3751 FAX: 03-3473-4965



遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 薬価基準収載
 生物由来製品 / 劇薬 / 処方せん医薬品[※]

エポエチンアルファBS^注 750 シリンジ「JCR」
 1500 「JCR」
 3000 「JCR」

Epoetin Alfa BS Injection エポエチン カップ(遺伝子組換え)[エポエチンアルファ後続1]製剤
注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること。

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

販売元 **キッセイ薬品工業株式会社** 製造販売元 **日本ケミカルリサーチ株式会社**
松本市芳野1-9番4-8号 http://www.kissei.co.jp
 <資料請求先>製品情報部 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号 TEL 03-3279-2304
兵庫県芦屋市春日町3-19
 <資料請求先>学術企画部 兵庫県芦屋市春日町3-19 TEL 0797-32-3635
 2010年11月作成

TORAY
 Innovation by Chemistry

NV

ポリスルホン製中空糸型透析器 モイストタイプ



トセライトNV 高度管理医療機器 医療機器承認番号: 22200BZX00871000
 機能分類IV型(NV-Uシリーズ) / 機能分類V型(NV-Xシリーズ)

《吸着水》に着目した膜表面改質技術によって、
 生体適合性と透析性能を高いレベルで
 実現しています。

- 膜表面改質技術によって、優れた抗血栓性を実現
- シャープな分画特性、膜のファウリング低減により、アルブミン漏出を抑え、
 且つ除去性能を向上
- 親水性ポリマーをγ線で架橋固定し、溶出を抑制
- 環境への取り組みとして、当社ウエットタイプに比べ60%軽量化し、且つ
 ケース素材にサーマルリサイクル効率の高いポリプロピレンを採用

販売業者 **東レ・メディカル株式会社** 製造販売業者 **東レ株式会社**
<http://www.toray-medical.com/>

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
 貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 **田尾延幸**

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番地・☎(011)746-5111

JIMRO

炎症性腸疾患治療の選択肢を広げる

Adacolumn[®]

血球細胞除去用浄化器

アダカラム[®] (保険適用)

- アダカラムは、活動期潰瘍性大腸炎および活動期クローン病の
 寛解を促進、症状を改善する治療用医療機器です。
- アダカラムは、末梢血中の顆粒球および単球を選択的に吸着
 する、体外循環用カラムです。
- 治療時間が60分と短く、患者さんの負担が少なくてすみます。

効能・効果、禁忌、使用上の注意等については、添付文書または製品情報概要をご参照下さい。

医療機器承認番号: 21100BZZ00687000

資料請求先

株式会社 **JIMRO** 東京事務所 学術部

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル

TEL: 0120-677-170(フリーダイヤル) FAX: 03-3469-9352 URL: <http://www.jimro.co.jp>



北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
	旭川赤十字病院	臨床工学課	脇田邦彦
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川リハビリテーション病院	透析部	木村吉治
	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	野尻 誠

印刷

前田印刷株式会社

〒078-8233

旭川市豊岡3条6丁目

2番20号

0166-34-0111